



名古屋市名東区 角和 保明さん(62)

国内外 植樹の伝道師



ドングリの木の植樹について語る角和保明さん=長久手町で

近ごろ、これから定年退職を迎える団塊世代がNPOに参加したいと訪ねてくるようになった。退職後は「しほむだけだ」と思つて仲間の輪が、どんどん広がるしさをかみしめている。

(長田弘己)

「このままじゃ、えんまさんに捕まるな」
大手建設機械会社の中国・四国支社長時代。うつそうとしたきれいな緑色の森を、自社の建設機械がゴルフ場建設のために次々と切り開いているのを見て、ふと思った。木が倒れた後にむき出しになつた土が痛々しく見えた。

そう感じたのは理由があった。あるとき、広島の宮島近くの山に大漁旗がためいているのを見つけ、行ってみた。旗の近くで黙々と木を植える人たち。み

「孫の世代に緑多い地球を」

湾を統括する立場となって、「伝道師」を目指し、昨も出張ついでに山へも分け入り、中国で進む砂漠化の現実を頭にたたき込んだ。

十二月にNPO法人「どんぐりモンゴリ」を設立した。植樹活動のほか、ドン



子 お父さんの名前はフミ
改名疑惑?
ヨ たなか・ひろなお(4歳)
私 フミヨじやなくてフミ
△稲沢市、母・田中真由美
△海は広いな!▽
オだよ
子 えつ、いつ新しい名前
た (庭にプールを出しまし

中川区、母・奥村美鈴
おくむら・なのか(4歳)
△おねこちゃん
今 日はお庭の海で遊ぶよ!
私は:(庭の海は近くていいです)

△おしゃれ
ママ、西の空に大きな
かき氷が出でいるよ!
私は違う。入道雲!!
△おしゃれ
つづき・まさはる(10歳)
△おしゃれ
ママ、西の空に大きな
かき氷が出でいるよ!
私は違う。入道雲!!
△おしゃれ
トナメント始まる
△おしゃれ
太平洋でカジキの大物
釣りを競う第五回蒲郡ビ
ルフィッシュトーナメント
△おしゃれ
ト(中日新聞社後援)が
二十六日、蒲郡市のラグ
一ナ蒲郡を基地に始まつ
た。競技は二十七日も行
われる。

競技は二十六、二十七
日の午前七時半~午後二
時に渥美半島沖から大王
崎(三重県)の太平洋
で、疑似餌を使って釣り
上げたカジキの重量を競
う。今回は愛知、三重県
のマリーナ所属のプレジ
ヤーポート二十二艇が参
加。種別が三千六百四十五
種類で、一千六百四十五
匹が上がった。

25

る、伐採のため山が杉の木ばかりになった。森には広葉樹などさまざまな木があり、達成感も味わっていた。漁師だった。「近ご 手付きの黒塗りの車で取引先を回っていた。サラリー 入り、中国で進む砂漠化の現実を頭にたたき込んだ。

帰国後は、自社が吸収合併した岐阜県の赤字子会社の社長となり、会社立て直しに全力を注いだが、役員学校や同市守山区の苗代小学校など県内の小学校が参考する趣旨に同意した賛助会員も七十人に達した。

国内での活動と並行して、中国・内モンゴル自治区のホルチン砂漠の緑化活動にも取り組む。現地で育てたドングリの苗を地元の人たちと一緒に植える。親友がいない子どもや学校へ行かない子どもに奨学金を出して支援する活動もする。

当時は、代理店も含める
し、上海の販売会社会長に就任。中国全土、香港、台
湾で、疑似餌を使って釣り上げたカジキの重量を競う。今回も愛知、三重県のマリーナ所属のプレジヤーポート二十二艇が参
加。種別一千六百四十五匹が上がった。

人生劇場団塊編



ヤードボート二十二艇が参
加。種別一千六百四十五
匹が上がった。

しているんだよ」と笑顔で話していた。

杉村祐輝治さんらが釣り
ワカジキ=蒲郡市のラグ

教育実践助成校
6校を決める

名古屋の大賀財團
教育実践助成校
6校を決める